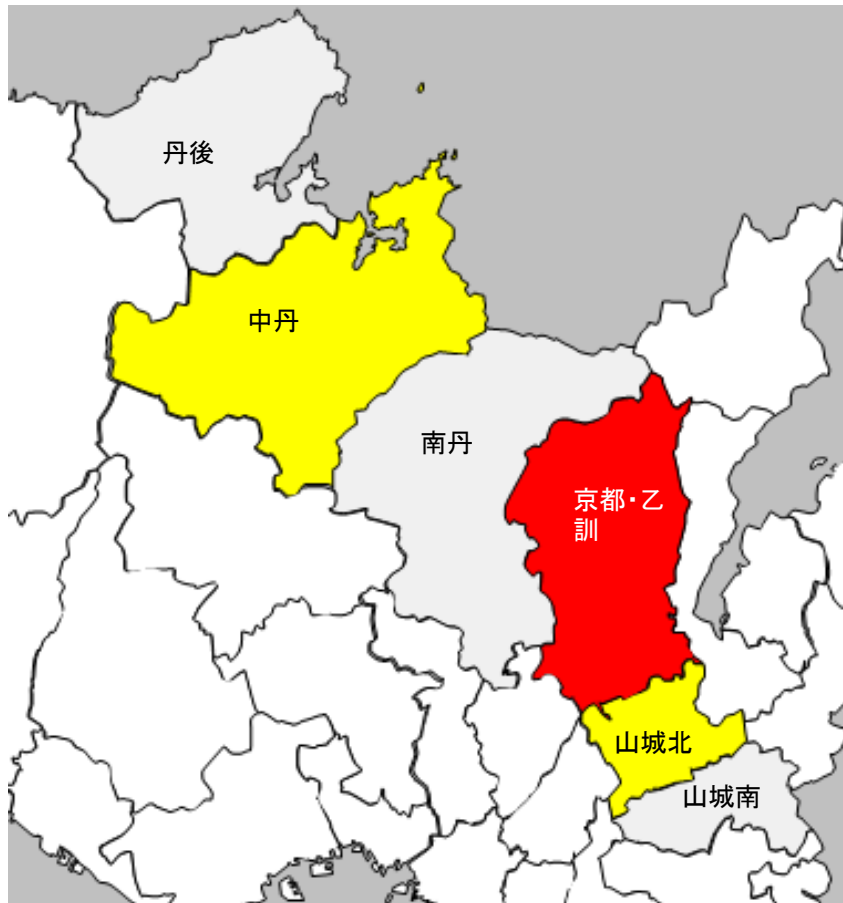


# 26. 京 都 府



## 26 京都府

## A. 医療提供体制の現状

京都府の特徴は、(1) 比較的高い医療提供レベル、(2) 京都・乙訓の一極集中、(3) 中丹の健闘、山城南の医療不足である。

## (1) 比較的高い医療提供レベル

府全体を通しての人口当たりの偏差値が、病床数(52)、一般病床(57)、病院勤務医数(54)、全身麻酔数(50)、看護師数(52)と全てが全国平均レベルを上回っている。

## (2) 京都・乙訓の一極集中

2つの医学部のある京都・乙訓に人口の62%が集中しているが、病院勤務医の76%、全身麻酔の76%、看護師の70%と、人口比率以上の医療の一極集中状態である。京都乙訓の偏差値は、一般病床(60)、病院勤務医(61)、全身麻酔(55)、総看護師数(57)であり、京都乙訓地域への過剰感が強い。

## (3) 中丹の健闘、山城南の医療不足

中丹には、舞鶴、福知山という医療の拠点となる都市があり、年間3千件を超える全身麻酔の手術が行われ、病院勤務医(51)、全身麻酔件数(52)、看護師数(57)と、医療資源も多い。

奈良県と県境を接する山城南は、今後人口の増加が予想される地域にも関わらず、病院勤務医(36)、全身麻酔件数(38)、看護師数(33)と日本でも有数の医療資源の少ない地域である。この地域の住民は、奈良県の医療機関へ受診することが多い。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## (丹後)

日本海に面した丹後(宮津)は、病床床数(45)、一般病床(53)、病院勤務医(46)、全身麻酔件数(41)、総看護師数(48)と、地方都市としては比較的充実した医療提供がなされている。2010→35年の医療の総需要が14%減、0-64歳が43%減、75歳以上が10%増であるので、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。また、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、丹中や京都・乙訓からの支援と連携の強化を図ることが望ましい。

**(中丹)**

中丹には舞鶴、福知山という拠点があり、病床床数（56）、一般病床（62）、病院勤務医（51）、全身麻酔件数（52）、総看護師数（57）と、地方都市としては充実した医療提供がなされている。2010→35年の医療の総需要が8%減、0-64歳が30%減、75歳以上が17%増であり、今後急性期医療の提供過剰状態が予測される。急性期病床の集約や削減、一部を後期高齢者対応の病棟に転換する必要がある。

**(丹南、山城北)**

京都をはさんで北に広がる丹南（亀岡）と南に広がる山城北（宇治）は、病床床数（44）と（47）、一般病床（53）と（48）、病院勤務医（45）と（43）、全身麻酔件数（40）と（43）、総看護師数（44）と（43）、比較的充実した医療提供がなされている。両地域ともに、京都・乙訓への依存度が高い。2010→35年の医療の総需要が6%増と12%増、0-64歳が33%減と26%減、75歳以上が59%増と97%増であり、比較的高い医療・介護の需要増が見込まれる地域なので、高齢者向けの施設・住宅や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内や京都・乙訓との更なるネットワークの強化などが必要である。

**(京都・乙訓)**

京都大学と京都府立医大がある京都・乙訓の偏差値は、一般病床（60）、病院勤務医（61）、全身麻酔数（55）、総看護師数（57）であり、現在充実した医療が提供されている。2010→35年の医療の総需要が7%増、0-64歳22%減、75歳以上が53%増であり、今後京都地域での医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。医師養成数の適正化と京都・乙訓で働く医師が医師不足地域での勤務を促す政策誘導、高機能病床のダウンサイジングが必要と思われる。一方75歳以上の医療需要53%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

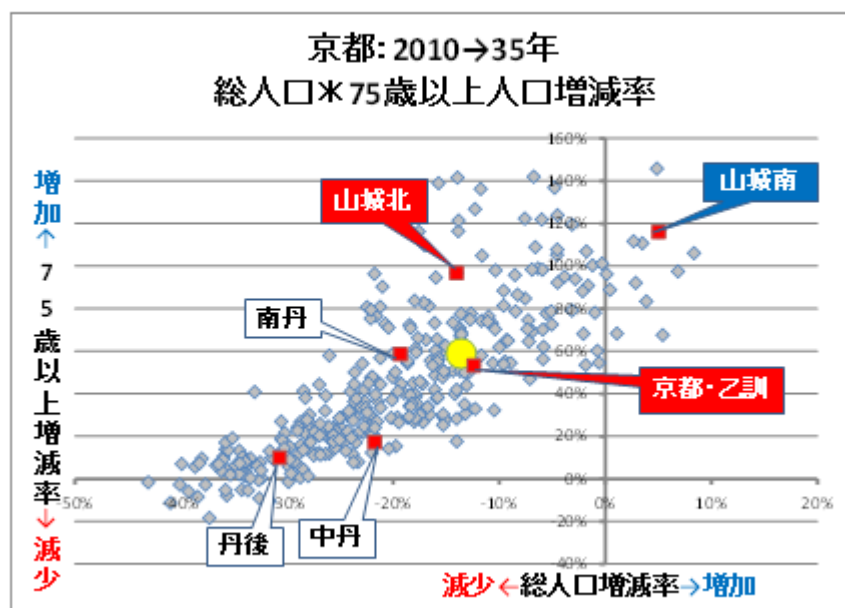
**(山城南)**

山城南（木津川）は、現在の日本では珍しい人口増加が予測される地域である。一方、一般病床（37）、病院勤務医（36）、全身麻酔数（38）、総看護師数（33）であり、人口当たりの医療資源量が日本で最も少ない医療圏の一つである。2010→35年の医療の総需要が35%増、0-64歳10%減、75歳以上が116%増であり、埼玉県、千葉県、愛知県と並ぶ、日本で最も高い高齢者の医療介護の需要の伸びが予測される。現在の医療や介護の資源では対応困難な高齢者向けの医療・介護の需要増が見込まれるので、医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化、京都・乙訓からの支援強化などが必要である。

表 26-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
京都府	2,636,092	13位	4,608	31位	572.0		22%	-14%	55%
丹後	104,850	4%	840	18%	124.8	過疎型	32%	-31%	10%
中丹	204,157	8%	1,242	27%	164.4	過疎型	27%	-22%	17%
南丹	143,345	5%	1,144	25%	125.3	過疎型	24%	-19%	59%
京都・乙訓	1,623,308	62%	861	19%	1,886.0	大都市型	22%	-12%	53%
山城北	445,855	17%	258	6%	1,729.9	大都市型	22%	-14%	97%
山城南	114,577	4%	263	6%	434.9	地方都市型	19%	5%	116%

図 26-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012  
 (A.「医療提供体制の現状」、表26-1、表26-2、表26-5、図26-4)  
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3  
 (図26-5)

表 26-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
京都府	37,388	2.2%	1,418	52	23,224	2.5%	881	57	23,262	1.7%	81	43
丹後	1,109	3%	1,058	45	822	4%	784	53	1,351	6%	72	39
中丹	3,299	9%	1,616	56	2,069	9%	1,013	62	2,520	11%	83	44
南丹	1,461	4%	1,019	44	1,124	5%	784	53	1,751	8%	99	52
京都・乙訓	25,879	69%	1,594	56	15,753	68%	970	60	13,193	57%	78	41
山城北	5,069	14%	1,137	47	2,995	13%	672	48	3,480	15%	87	46
山城南	571	2%	498	34	461	2%	402	37	967	4%	97	51

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 26-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

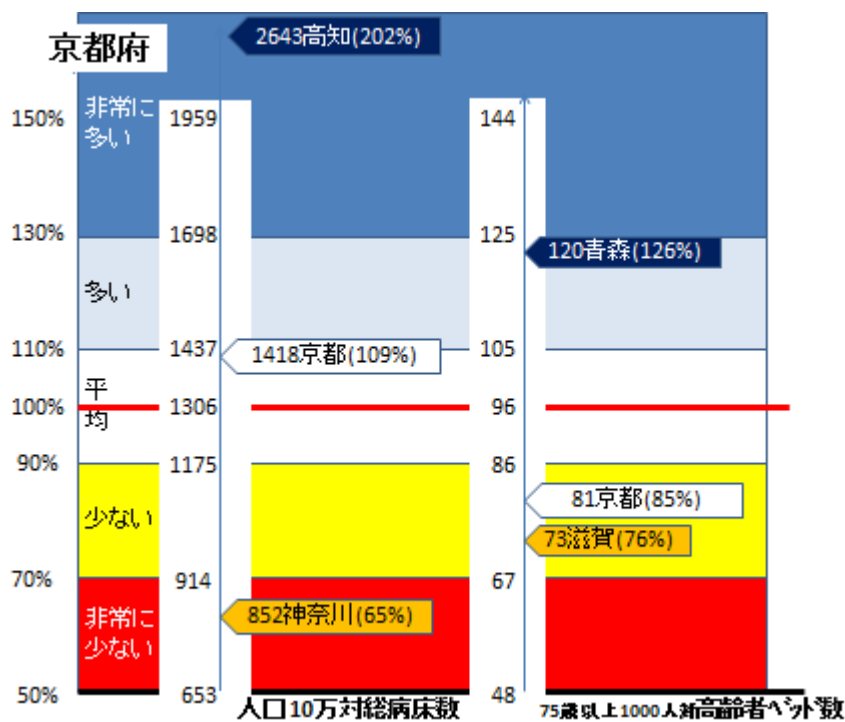


表 26-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
京都府	6,377	1.9%	242	49	915	1.5%	35	47	6,488	1.9%	246	49
丹後	218	3%	208	47	50	5%	48	50		0%	0	37
中丹	372	6%	182	46	44	5%	22	44	800	12%	392	56
南丹	323	5%	225	48		0%	0	39		0%	0	37
京都・乙訓	4,580	72%	282	51	685	75%	42	49	4,646	72%	286	51
山城北	784	12%	176	46	136	15%	31	46	1,042	16%	234	48
山城南	100	2%	87	42		0%	0	39		0%	0	37

表 26-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
京都府	3	1.5%	1.1	48	9	2.4%	3.4	51	1,826	2.1%	69	50
丹後	0	0%	0	43	0	0%	0	42	75	4%	72	51
中丹	0	0%	0	43	2	22%	9.8	69	112	6%	55	46
南丹	0	0%	0	43	0	0%	0	42	68	4%	47	44
京都・乙訓	3	100%	1.8	51	7	78%	4.3	54	1,245	68%	77	52
山城北	0	0%	0	43	0	0%	0	42	289	16%	65	49
山城南	0	0%	0	43	0	0%	0	42	37	2%	32	40

表 26-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
京都府	3,836	2.4%	146	54	18,724	2.2%	710	52	37,642	2.1%	1,428	50
丹後	104	3%	99	46	646	3%	616	48	694	2%	662	41
中丹	260	7%	127	51	1,655	9%	810	57	3,170	8%	1,553	52
南丹	137	4%	96	45	758	4%	529	44	908	2%	633	40
京都・乙訓	2,909	76%	179	61	13,043	70%	804	57	28,746	76%	1,771	55
山城北	371	10%	83	43	2,289	12%	513	43	3,618	10%	811	43
山城南	55	1%	48	36	333	2%	291	33	506	1%	442	38

図 26-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

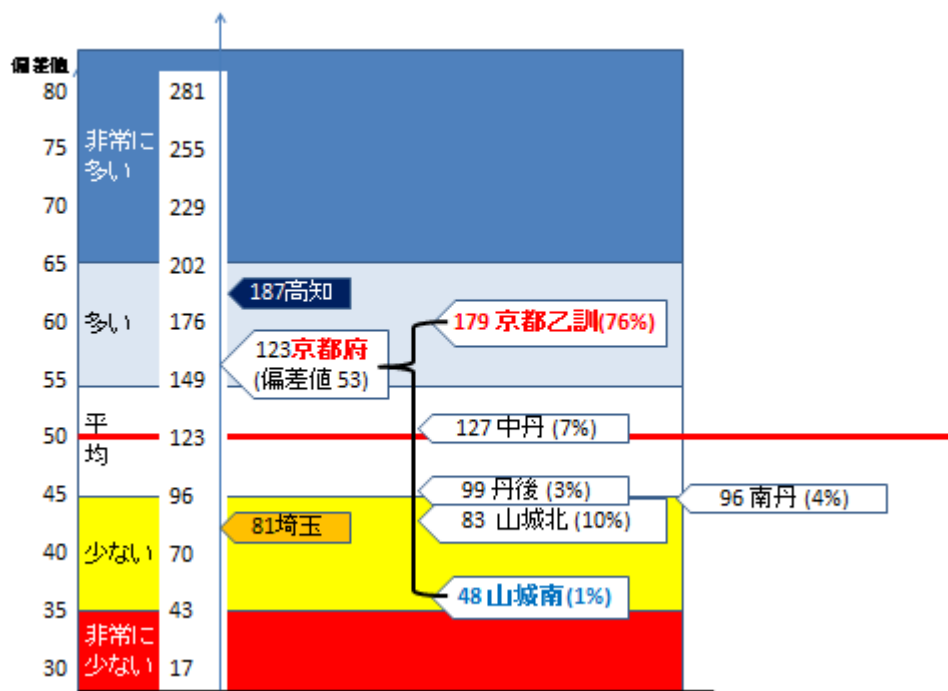


図 26-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

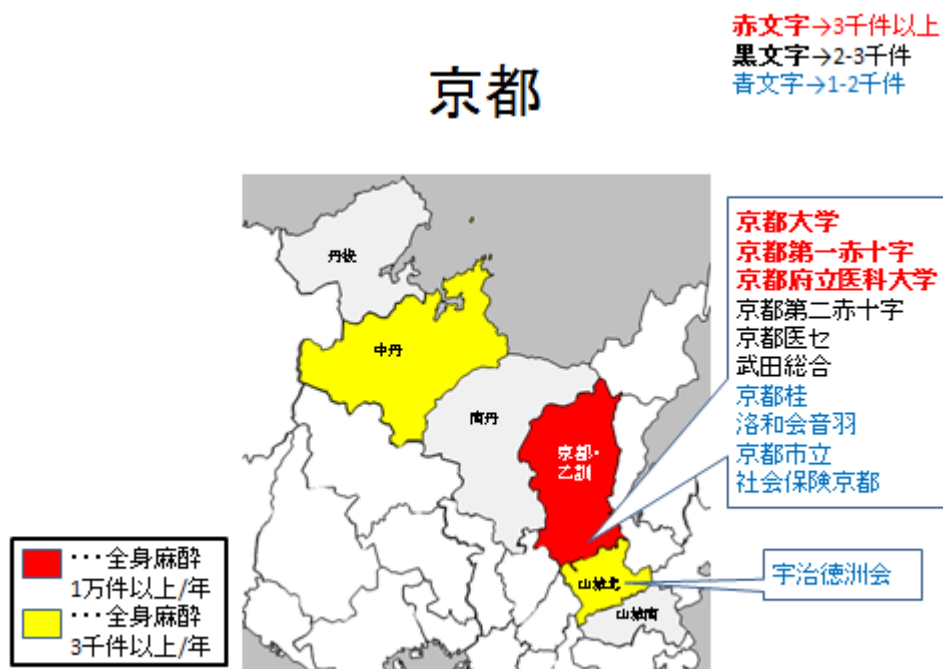


図 26-5 二次医療圏（流入出）

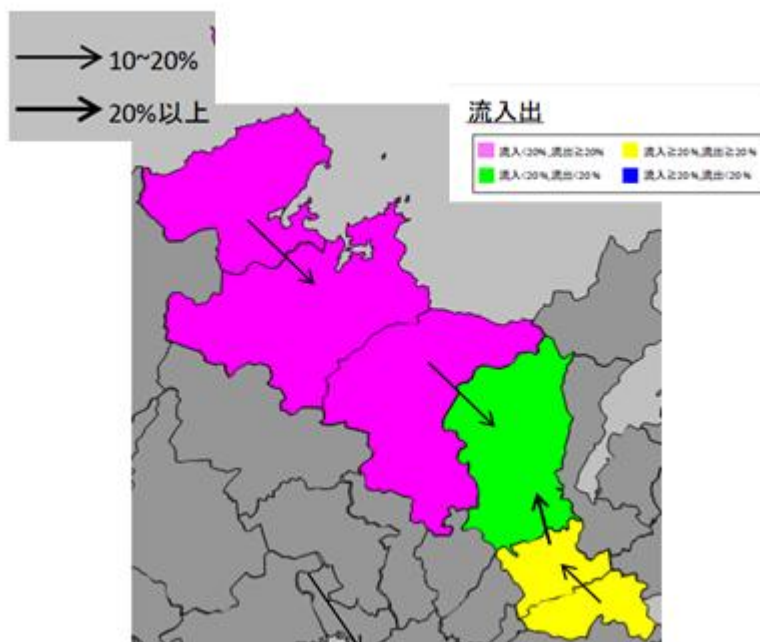


表 26-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
京都府	14,498	2.1%	51	51	5,804	1.9%	20	47	8,694	2.2%	30	52
丹後	910	6%	49	49	200	3%	11	30	710	8%	38	60
中丹	1,632	11%	54	53	612	11%	20	47	1,020	12%	33	55
南丹	1,214	8%	69	66	450	8%	25	56	764	9%	43	65
京都・乙訓	8,326	57%	49	49	3,791	65%	22	51	4,535	52%	27	49
山城北	1,976	14%	50	50	651	11%	16	40	1,325	15%	33	55
山城南	440	3%	44	45	100	2%	10	29	340	4%	34	56



表 26-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者住宅数合計	全国シェア 県内シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
京都府	8,764	1.4%	31	42	2,284	1.0%	8.0	42	1,620	1.0%	5.7	41
丹後	441	5%	24	38	60	3%	3.2	38	117	7%	6.3	42
中丹	888	10%	29	41	109	5%	3.6	38	140	9%	4.6	39
南丹	537	6%	30	42	0	0%	0.0	35	99	6%	5.6	41
京都・乙訓	4,867	56%	29	41	1,423	62%	8.4	42	897	55%	5.3	40
山城北	1,504	17%	38	46	432	19%	10.9	45	304	19%	7.6	44
山城南	527	6%	53	54	260	11%	26.2	59	63	4%	6.3	42

表 26-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
京都府		6%	-24%	-9%	-19%	55%	46%
丹後	3	-14%	-43%	-24%	-35%	10%	6%
中丹	3	-8%	-30%	-18%	-26%	17%	13%
南丹	3	6%	-33%	-12%	-26%	59%	49%
京都・乙訓	1	7%	-22%	-6%	-17%	53%	44%
山城北	1	12%	-26%	-15%	-22%	97%	77%
山城南	2	35%	-10%	26%	2%	116%	100%

図 26-6 京都府 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

